

SHINWA REPORT

第5期(2018年度)報告書
2018.4.1—2019.3.31

株主の皆様へ

平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
第5期(2018年度)の業績について、ご報告させていただきます。

信和株式会社

〒503-0311 岐阜県海津市平田町仏師川字村中30番7 TEL:0584-66-4436

“モノづくり”へのこだわりが、当社のDNA。

この度、信和株式会社は2019年3月20日に東京証券取引所 市場第1部、名古屋証券取引所 市場第1部へ上場いたしました。これもひとえに、取引先の皆様、株主様、関係各位のご支援、ご高配の賜物であり、心より御礼申し上げます。

また、今回株主になって頂いた多くの皆様におかれましても、当社の成長をご支援、ご期待頂けますこと、心より御礼申し上げます。

弊社は1977年の創業以来、くさび緊結式足場をはじめとした仮設資材のメーカーとして、お客様および仮設業界の発展に寄与しながら歩んでまいりました。また長年の金属加工技術を活かし、2003年には物流機器事業への進出を果たすなど、幅広いお客様へ高品位な製品を提供してまいりました。

両事業ともに、「お客様との対話」がすべての始まりです。そこでお聞かせいただいたご要望は、当社の培ってきた「モノづくり」の精神によって、より高次元の製品に形を変え、お客様の手元に届きます。

今後も、リーディングカンパニーたる誇りを持った製品づくりと、顧客満足の上をさらに図り、「10年後もメーカーとして、ダントツの存在であり続ける」をスローガンに、たゆまぬ自己研鑽に努めてまいります。

何卒一層のご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

代表取締役社長

小田 博



財務ハイライト第5期(2019年3月期)

詳細な財務情報は、当社のIRウェブサイトをご覧ください。 <http://ir.shinwa-jp.com>

売上収益



親会社の所有者に帰属する当期利益



株主資本比率



ROE



事業の内容について

仮設資材部門

建設現場などで用いられる仮設足場は、主に低層～中層用で使用されるシステム足場※(くさび緊結式足場)と中層～高層用で使用されるシステム足場(次世代足場)並びに、主に高層用や大規模施設等で使用される枠組足場の3種類に大別されますが、当事業においては、主にシステム足場(くさび緊結式足場・次世代足場)の製造・販売を行っております。門型の建枠にジャッキベース・交差筋かい・踏板等の基本部材を組み合わせ、積み上げていく枠組足場と比べ、システム足場は各製品

(支柱・手すり・踏板等)が軽量かつシンプルな形状となっております。

株式会社日本能率協会総合研究所の2017年9月20日付「くさび緊結式足場及び次世代足場の市場に関する調査 報告書」によると、当社が提供する「くさび緊結式足場」は、出荷金額ベースで市場シェア約40%の第1位となっております。

※ システム足場とは、「くさび緊結式足場」と「次世代足場」の総称です。

次世代足場について

次世代足場は、従来の枠組足場における寸法規格に準拠して作られている一方、くさび緊結式足場と同様に組み立て式となっております。また、くさび緊結式足場と比較して、手すりの抜け止め機能や支柱本体のロック機能が備わっており、高所作業における安全性・安定性を高めた製品であります。

当社の「SPS(サイレントパワーシステム)」は、国内最高水準の作業性と「静音性」を兼ね備えています。



▲次世代足場現場写真



▲くさび緊結式足場現場写真

当社取扱製品及び主力製品

システム足場	足場の種類	くさび緊結式足場 『シンフキャッチャー』	次世代足場 『SPS (サイレントパワーシステム)』『NDS (ダーウィン)』	
	主な用途	低層～中層向け (戸建住宅・マンション等)	中層～高層向け (大型マンション・ビル・大規模施設等)	
	当社の製品	 シンフキャッチャー	 SPS	 NDS

物流機器部門

物流機器部門では、主に工場・倉庫、建設現場における物品の保管・搬送等に使用される物流機器の製造・販売を行っております。

用途に合わせて様々な製品を製造しており、自動車部品、液晶パネル用ガラス等の保管・搬送用パレット及びスチールラックといった物品保管用の物流機器を、顧客の要望に基づいて企画設計・製造をし、顧客のニーズに最も適した製品を提供できるよう努めております。



第5期(2018年度)の概況

仮設資材部門

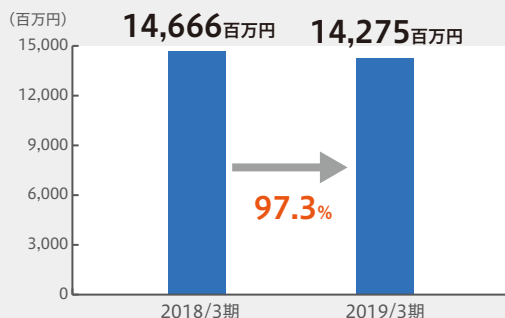
仮設資材部門は、主に戸建住宅などの低層から中層をターゲットにした「くさび緊結式足場」と、中層から高層の大型施設や公共工事をターゲットにした「次世代足場」の2つの製品群を展開しております。

くさび緊結式足場におきましては、人手不足等の要因を背景に前年を下回る見通しでありましたが、相次いだ自然災害からの復旧・復興活動の高まりを受け、売上収益は8,214百万円(前期比3.1%増)となり、前年を上回って推移いたしました。

一方、次世代足場におきましては、施工効率の改善や高い安全性の追求、騒音問題への配慮など、建設現場の課題解決に資する製品として安定した需要がみられたものの、年度後半より大型工事案件の減少等を背景に仮設資材リース会社や施工会社からの需要が減少し売上が伸び悩んだ結果、次世代足場の売上収益は2,657百万円(前期比11.9%減)となりました。

これらの結果、仮設資材部門の売上収益は14,275百万円(前期比2.7%減)となりました。

仮設資材部門の売上収益



次世代足場累計売上 60億円突破

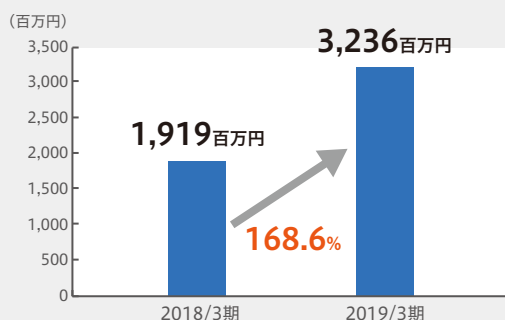


物流機器部門

物流機器部門においては、大手インターネット販売会社向け大型倉庫用ラックやLEDを用いた人工光型植物工場向け多段棚、さらに自動車業界向け搬送機器など、大型のリピート受注を多数獲得したことに加え、液体搬送用バルクコンテナケースの需要が一段と高まり、好調に推移いたしました。

これらの結果、物流機器部門の売上収益は3,236百万円(前期比68.6%増)となりました。

物流機器部門の売上収益



POINT

液体搬送用
バルクコンテナケースの需要が一段と高まる
その他…
■LEDを用いた人工光型植物工場用多段棚
■大手インターネット販売会社向けラック

実績に支えられ、大型の新規
およびリピートオーダー多数獲得

第5期(2018年度)のIR活動Topics

当社は、上場以来積極的にIR活動を行っております。アナリスト・機関投資家様には四半期ごとの個別訪問・電話会議を行い、半期ごとに決算説明会を開催いたしました。また、個人投資家様に対しては、4つのIRフェスタに出展し、合計で3,240名の方に対し会社説明会を実施いたしました。

今後も当社の事業価値を向上させるべく、継続的にIR活動を行ってまいりますので、皆様方のご支援を賜りますようお願いいたします。

■第4期決算説明会

アナリスト・機関投資家様対象の決算説明会



2018
5月

■個人投資家向け会社説明会(岐阜市)

■当社 IRサイト完成

■名証2部上場

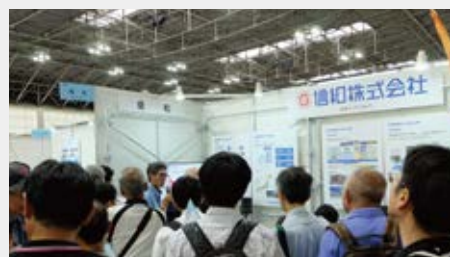
■第4期(2017年度)株主総会

6月

■個人投資家向け会社説明会(岐阜市)

■名証IRエキスポ2018

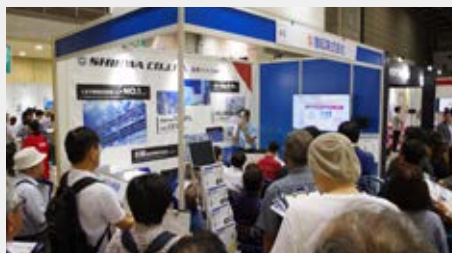
地元IRフェアへ出展、2日間で800名が来場



7月

■日経IR・個人投資家フェア2018

東京でのIRフェアに初出展、2日間で920名が来場



8月

■野村IR資産運用フェア2019【新春】

証券会社主催のIRフェアへ出展、2日間で600名が来場



10月

■日経CNBC出演

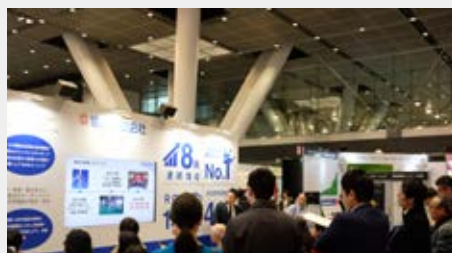
11月

■第5期中間決算説明会

2019
1月

■東証IRフェスタ2019

国内最大級のIRフェアへ出展、2日間で920名が来場



2月

■東証1部上場・名証1部上場

2部上場から1年、最短での上場を果たす



3月

連結財務諸表(国際会計基準)

連結財政状態計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
(資産の部)		
流動資産	8,077	8,064
現金及び現金同等物	1,507	1,742
営業債権及びその他の債権	4,258	3,817
棚卸資産	2,142	2,382
その他の金融資産	50	50
その他の流動資産	118	71
非流動資産	13,007	13,108
有形固定資産	2,453	2,495
のれん	9,221	9,221
無形資産	1,263	1,276
その他の金融資産	49	83
繰延税金資産	6	18
その他の非流動資産	12	13
資産合計	21,084	21,172

連結損益計算書

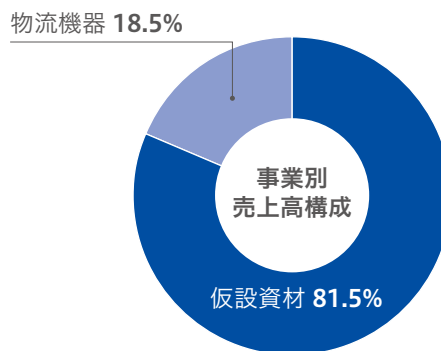
(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (2017年4月1日～ 2018年3月31日)	当連結会計年度 (2018年4月1日～ 2019年3月31日)
売上収益	16,586	17,512
売上原価	△12,410	△13,482
売上総利益	4,175	4,030
販売費及び一般管理費	△1,871	△2,073
その他の収益	12	11
その他の費用	△9	△4
営業利益	2,306	1,963
金融収益	0	2
金融費用	△68	△71
税引前利益	2,238	1,894
法人所得税費用	△779	△563
当期利益	1,459	1,331
当期利益の帰属		
親会社の所有者	1,459	1,331
当期利益	1,459	1,331

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
(負債及び資本の部)		
流動負債	2,852	2,177
営業債務及びその他の債務	1,468	1,180
借入金	767	494
未払法人所得税	306	174
その他の金融負債	35	33
その他の流動負債	273	293
非流動負債	6,263	6,136
借入金	5,818	5,685
引当金	40	45
その他の金融負債	51	42
繰延税金負債	349	358
その他の非流動負債	3	3
負債合計	9,116	8,313
(資本の部)		
親会社の所有者に帰属する持分	11,968	12,859
資本金	100	150
資本剰余金	6,810	6,915
利益剰余金	5,057	5,793
その他の資本の構成要素	1	—
資本合計	11,968	12,859
負債及び資本合計	21,084	21,172

事業別売上高構成 (2019年3月期)



Topics

01 東証・名証 第一部へ上場

2019年3月20日に東京証券取引所 市場第1部、名古屋証券取引所 市場第1部に上場いたしました。

株主の皆様をはじめ、関係者の皆様の温かいご支援、ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

今後も、持続的な成長と企業価値・株主価値の最大化を目指してまいります。



02 サービス・営業拠点の拡充

配送コストの低減、納期短縮など顧客サービス向上のため、第5期は3つの機材センター・1つの営業拠点を新規開設しました。



会社概要 (2019年3月31日現在)

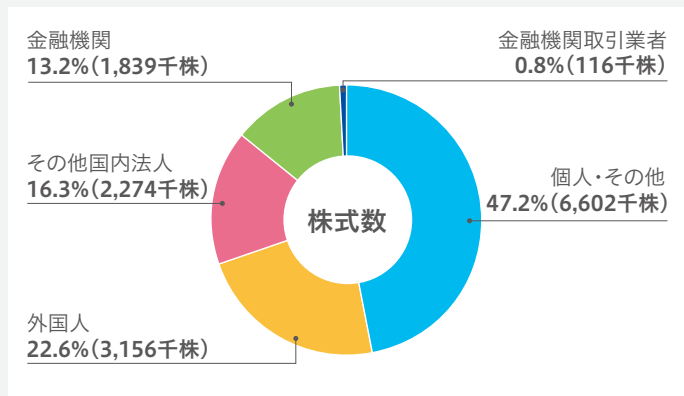
社名	信和株式会社 Shinwa Co.,Ltd.
設立	2014年8月11日(実質的な設立:1979年8月)
資本金	150百万円
主な事業内容	仮設資材、物流機器の製造・販売
従業員数	155名
本社所在地	岐阜県海津市平田町仏師川字村中30番7
営業拠点及び工場等	東京支店/大阪支店/名古屋オフィス/土倉工場/土倉機材センター/杉戸機材センター/横浜機材センター/関西機材センター/幸手事務所/フィリピン駐在員事務所(フィリピン・マニラ)/ベトナム協力工場(ベトナム・ホーチミン) 信和サービス(株)本社/長崎営業所/熊本機材センター

株式情報 (2019年3月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	55,153,600株
発行済株式の総数	13,988,800株
株主数	14,043名

所有者別分布状況 (2019年3月31日現在)



配当方針

当社は、将来における安定的な企業成長と経営環境の変化に対応するために必要な内部留保資金を確保しつつ、経営成績に応じた利益還元を行うことを基本方針とし

配当性向 40%以上

を目標に実施してまいります。

第5期(2018年度)実績 1株当たり配当金 **44.00円** 配当性向 **45.6%**
(連結ベース)

株主メモ

証券コード	3447
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第1部・名古屋証券取引所 市場第1部
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	事業年度末日の翌日から3ヶ月以内
基準日	3月31日
剰余金の配当の基準日	3月31日
1単元の株式数	100株

役員 (2019年6月25日予定)

代表取締役社長	山田博
取締役副社長	則武栗夫
取締役	平野真一
社外取締役	水谷謙作
社外取締役(監査等委員)	伊藤佐英
社外取締役(監査等委員)	谷口哲一
社外取締役(監査等委員)	阿知波知子

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	1,814,700	12.9
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	842,600	6.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	778,200	5.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	703,200	5.0
アルインコ株式会社	689,400	4.9
阪和興業株式会社	689,400	4.9
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	270,700	1.9
中山通商株式会社	137,900	0.9
株式会社ヤグミ	137,900	0.9
MLI FOR CLIENT GENERAL OMNI NON COLLATERAL NON TREATY-PB	104,300	0.7

当社ホームページのご案内



様々な情報を
ホームページで
ご覧になれます。

<http://www.shinwa-jp.com>

株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	愛知県名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
公告掲載方法	当社の公告は、電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合の公告方法は、日本経済新聞に掲載する方法によって行います。 当社の公告掲載URLは次のとおりであります。 http://ir.shinwa-jp.com/ja/announce.html